

専攻主科目名

医学教育学

◆問合わせ連絡先 担当：医学教育学講座 大久保由美子

E-mail meded@teikyo-u.ac.jp

TEL 03-3964-1211（内線：47414）

HP（講座） <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/meded/index.html>

講座紹介



紺野 久美子

コンノ クミコ

医学教育学講座・講師
医学教育学
内科学(循環器学)
卒後臨床教育



大久保 由美子

オオクボ ユミコ

医学教育学講座・主任教授
医学教育センター・センター長
日本医学教育学会認定医学教育専門家
内科学（内分泌代謝）
多職種連携、早期教育



堀田 晶子

ホリタ ショウコ

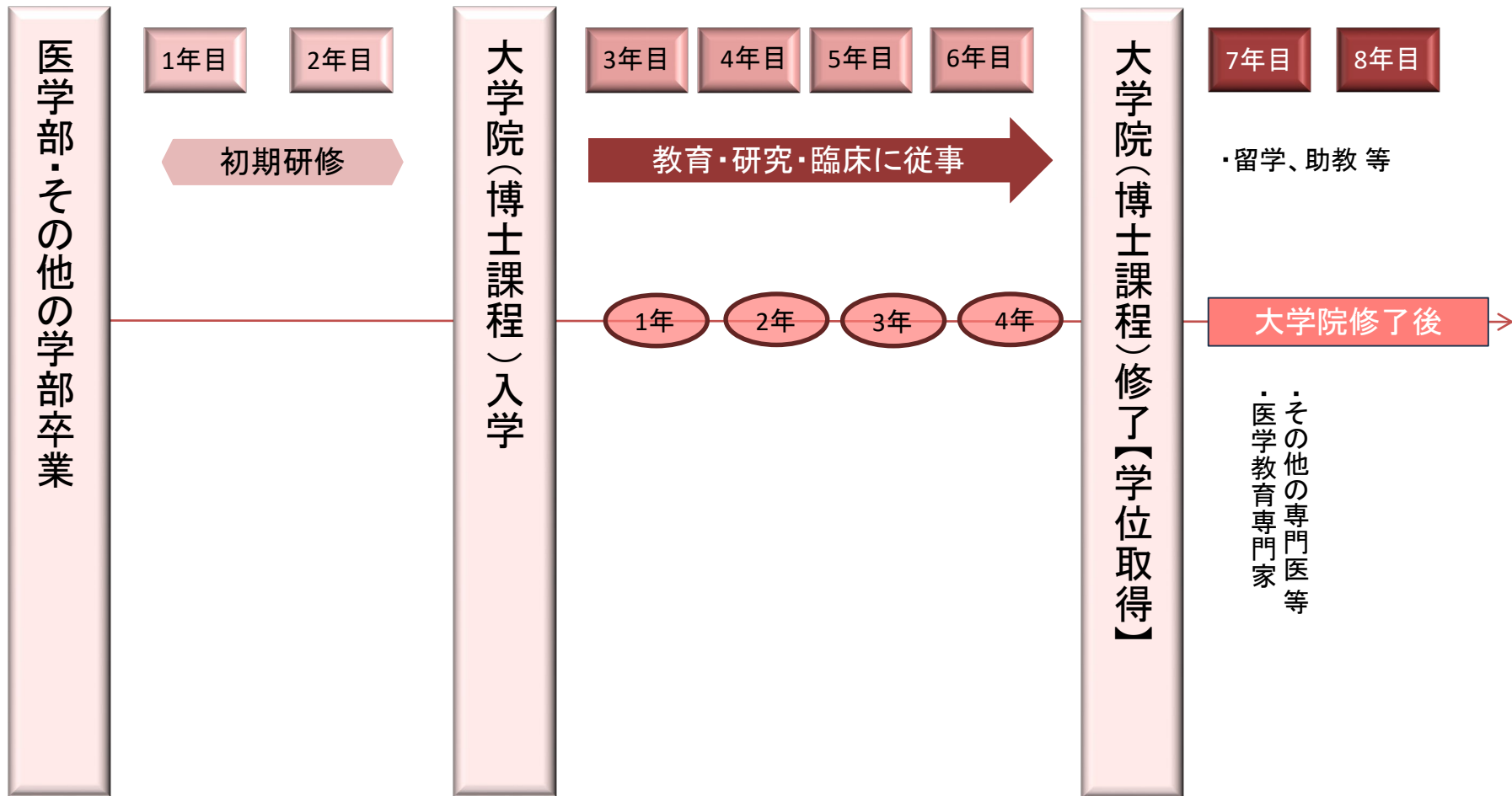
医学教育学講座・講師
日本医学教育学会
認定医学教育専門家
医学教育学
内科学(腎臓・透析)
IR、教育技法、教育統計

2023年4月1日に医学部医学教育学講座が新設されました。

医師・医療者を志す学生、研修医、医療者にとって
効果的な教育とはどのようなものでしょうか。

教育に興味のある方、一緒に教育に関する研究をしませんか？

キャリアパス（モデルコース）





出願資格（2025年度の入試情報）＜参考＞

次の各号のいずれかに該当する者、または次の各号のいずれかに2025年3月末日までに該当する見込みのある者

- (1) 大学における修業年限6年の履修を要する課程を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
 - 旧大学令による大学の医学または歯学の学部において医学及び歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - 防衛省設置法による防衛医科大学校を卒業した者
 - 修士課程または学校教育法第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者および修士の学位の授与を受けることのできる者ならびに前期および後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規程の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規程（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で大学院または専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものまたは獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものおよび獣医学を履修する課程を除く）を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院または専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものまたは獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (5) 本研究科の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

【出願要件】

器官系統病態学分野、総合病態診療学分野、がん専門医養成コースに志願する者は医師免許を有する者

募集人員（2025年度の入試情報）＜参考＞

研究科名	専攻名	入学定員
医学研究科	医学専攻	70名

※出願者は、専攻主科目一覧から専攻主科目、指導教授・教員を、出願時に入力してください。
入学区分には「一般枠」と「社会人枠」の2種類があります。どちらに該当するかよく確認の上、入学願書の所定欄に記入してください。

●一般枠：本学医学部を除き、常勤職員の身分を有することはできません。

※非常勤、アルバイトは可とする。

●社会人枠：本学医学部に勤務（医学部教員、後期研修医等）しており、入学後もその身分を有する者。

※ただし、構造機能医学分野、基礎病態学分野および社会保健医学分野へ出願する者に限り、本学初期研修医からの出願も認める。

※なお、本学医学部の職員として採用がされない場合には、一般枠となります。

チーム医療、医療コミュニケーションなど多職種連携医療教育のニーズが高まっています。医学教育学講座では様々な医療職種に対する医療者教育の実践、教育プログラムの研究開発などを行っています。
日頃、学生教育・医療者教育において疑問を抱いていることがある、教育プログラムの開発などに興味がある方、仕事を続けながら教育研究を進め、論文に取り組みましょう。